

承認番号	3604
研究課題名	大阪市立大学泌尿器科における長期透析(15年以上)患者に対する腎移植の意義の検討
研究の意義・目的	一般に透析期間が長くなるにつれて心血管系疾患による死亡リスクが増加するが、腎移植を行うことにより心血管系死亡リスクは速やかに低下します。しかしながら15年を超えるような長期透析患者に腎移植を行った場合、これが当てはまるかどうかは不明です。今回長期透析患者に対する腎移植の意義を検討します。
研究期間	研究期間 倫理委員会承認後 ~ 2020年12月31日
研究対象者の範囲	2001年1月1日から2020年3月31日までに大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、腎移植のため受診された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	① 患者基本情報：年齢、性別、透析期間、透析導入原疾患、献腎/生体腎の割合、血液型適応度、HLA不適合抗原数、移植後経過、血圧 ② 血液検査：血清クレアチニン、eGFR、血糖値、HbA1c、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	【研究責任者】 所属：大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 職名：准教授 氏名：内田 潤次
代表施設のURL	該当なし。
研究成果を公表する方法	学会発表、論文にて公表します。
試料・情報の提供方法	該当なし。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究責任者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次 住所 大阪市阿倍野区旭区1-4-3 電話番号 06-6645-3857 FAX 06-6647-4426 E-mail m9492120@msic.med.osaka-cu.ac.jp